



# 大切な松を松くい虫被害から 守るために

◆おたずね◆  
森林政策課  
☎ 21-6996

一般的に言われている松くい虫とは、正式には『マツ材線虫病』と呼ばれ、マツノザイセンチュウという『線虫』が松を枯らす病原で、そのマツノザイセンチュウをマツノマダラカミキリという『昆虫』が媒介する伝染病のことです。

近年、市内では山林だけではなく、平野部の築地松や庭松にも松くい虫被害が拡大してきています。そこで、大切な松を守るための方法及び松が枯れた場合の対応について紹介します。



## 大切な松を松くい虫被害から

### 守るためにはどうしたらよいのか？

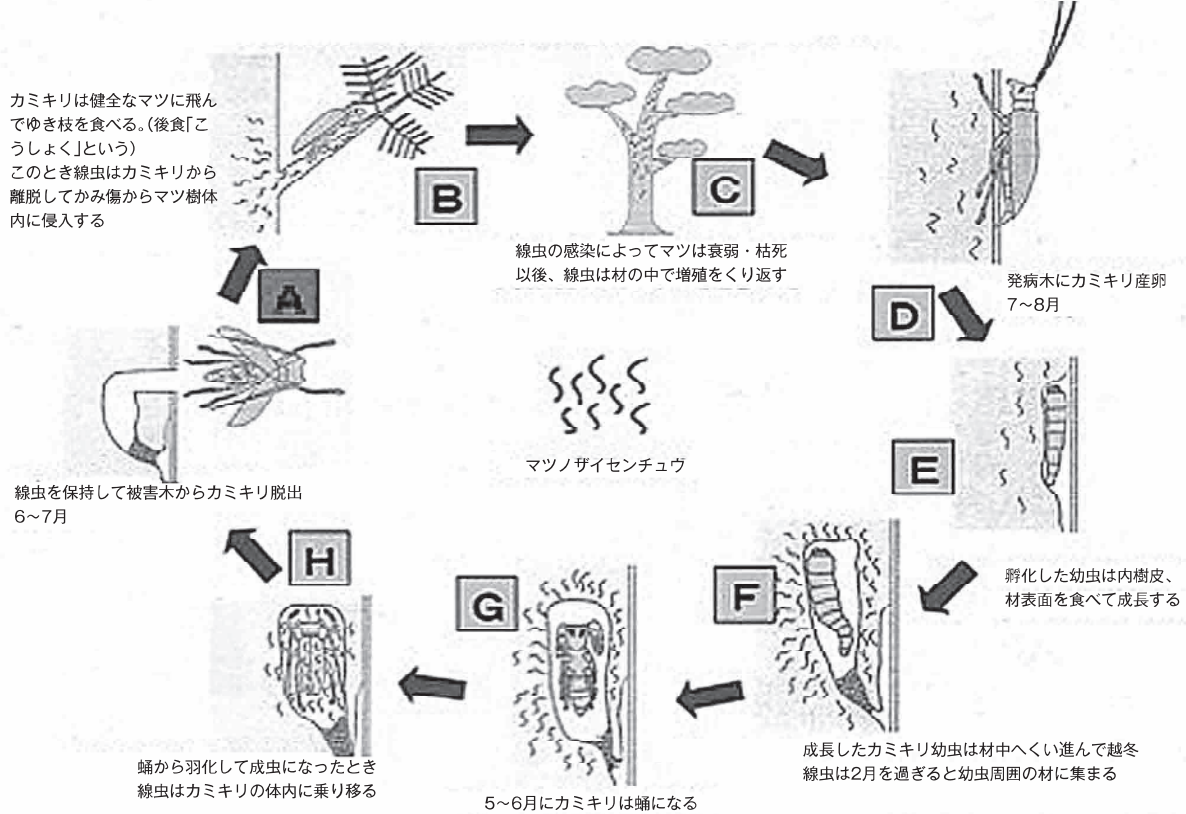
松くい虫被害から松を守るための方法は、「薬剤地上散布」と「薬剤樹幹注入」の2つの方法があります。それぞれ施行時期が異なりますので、注意が必要です。

## 松くい虫被害で松が枯れた場合どうしたらよいのか？

枯れた木を放っておくと、その周りの木にも伝染し、枯れが広がってしまいます。被害拡大を防ぐためにも、伐り倒し、できる限り処分を行ってください。

松くい虫被害など詳細については、森林政策課、森林組合または造園業者等におたずねください。

## 松くい虫被害発生メカニズム



市では、松くい虫被害の特徴、被害発生メカニズム、防除事業の概要及び施行状況等を記載した「松くい虫被害対策マニュアル」を作成しています。マニュアルは市ホームページに掲載しています。